

横須賀 坂道めぐり

1 貝山緑地の坂

浦郷5丁目付近

追浜 歴史的

貝山緑地に入ると目立つ急な坂。坂の途中には海軍少年航空兵の教育機関「予科練誕生之地」の碑があります。

2 太田坂

田浦1丁目付近

田浦 歴史的

太田(おった)坂と云う。入り口は、浄土宗の長善寺で、途中で石段になり浦賀道の難所。途中に「道六神」があります。



3 のの字坂

田浦1丁目付近

田浦 歴史的

「の」の字に立体交差していることから、土地の人が「のの字坂」と呼んでいます。戦前、城の台砲台を築き、物資を運上げるために作られた道路で、道をつなぐ陸橋を「のの字橋」(ループ橋)といい、初めは橋も木製だったそうです。

4 琵琶首坂

西逸見町3丁目付近

逸見 歴史的

旧浦賀道の一部。曲がりくねって、琵琶の形に似ていたことからこの名がついたといわれています。現在は県立塚山公園に向かうための通路になっています。



13 砂坂

大津

大津 印象的

旧浦賀道の一部。現在は、緩やかな坂で、坂の途中には「砂坂地藏尊」があり、別名「イボとり地藏」と呼ばれています。

14 桜が丘の坂

県道208号桜が丘1丁目付近

馬堀海岸 海(東京湾が見える)

桜が丘の住宅街を通る県道208号を馬堀方面に走ったところにあります。下り坂にさし掛かると正面には浦賀水道が広がり、多くの船舶を見ることができます。



15 走水の坂

国道16号破崎緑地付近

馬堀海岸 海が見える

国道16号の「うみかぜの路」のルート上にある坂で、周辺は撮影スポットにもなっています。天気良ければ横須賀の街越しに富士山を見ることができます。

16 防大の坂

馬堀小前〜小原台へ

馬堀海岸 海が見える

防大生にとって別名「じごく坂」「ふりがえしの坂」と色々な名が付いています。その坂を下れば横須賀の街や東京湾に浮かぶ猿島が見ることができます。



5 逸見大坂

西逸見町2丁目付近

逸見 急な坂

上下水道局の逸見総合管理センターへと続く急な坂、職員の間では「逸見大坂」と呼ばれています。坂の途中にはかつての海軍水道を思わせる海軍境界石があります。

6 一国坂

汐入1丁目付近

逸見 印象的

坂の名は、坂の整備の際に「一国屋」の主人が骨を折ったという説と、山の上の浦賀道から一国屋脇に下りるからの二説があります。トンネルの上に続くつづら折りの階段が印象的。



7 出桁造りのある坂

坂本

汐入 印象的

明治38年に完成。坂は急で馬力(荷馬車)でも、上り下りに難儀しました。有志により「馬頭観音」が建てられました。かつては1階は商店、2階は住居といった出桁造りの街並みが多くみられました。



8 ちこく坂

坂本

汐入 歴史的

坂本には「重砲兵連隊」があり、歓楽街で遊んだ兵士たちが遅刻をしないように駆けあがった坂といわれています。夕食ラッパギリギリに飛び込む常習兵がいたことから遅刻坂と呼ばれていました。また戦前は「ほまれ坂」とも呼ばれていました。



17 18 恵仁志坂 産霊坂

東叶神社

浦賀 歴史的

東叶神社の境内にある坂で「えにし坂」「むすひ坂」と読みます。縁(えにし)結ぶ(むすひ)という読み方から縁結 びにもご利益があるといわれています。山頂まで223段あるが下段95段を恵仁志坂、中・上を産霊坂と呼びます。

19 清水垂坂

衣笠山公園入り口付近

衣笠 名前が面白い

しみつたれ坂と呼ばれる坂は、道の所々より水がわき出ている年中乾いたことがなかったため、牛馬にも歩行者にも難所とされていました。



20 くりはま花の国

花の国ロスマリネス付近

久里浜 海・東京湾フーリーが見える

くりはま花の国のBBQレストラン「ロスマリネス」周辺の坂からは、東京湾フェリーのターミナルなど東京湾や房総半島が一望できます。



横須賀の「坂道」の魅力

「坂のまち」といえば誰もが思い出すのが、長崎、尾道、函館、神戸そして江戸東京。ほとんどが港町です。実は横須賀も「坂のまち」なのです。深い海と入り組んだ海岸線、山・谷戸・崖、まさに幕末から明治にかけての近代産業・海軍基地建設のための絶好の場所だったのです。平野も少ないため、人口集中・市街地拡大に伴い、自然と坂道が発達しました。特に海沿いの坂道は「海と船が見える坂道」となっています。

横須賀の坂道は機能上大きく4つに分けられます。

第一は、街道・国道など幹線道路の坂道。江戸時代からの大正時代にかけて利用された東海道から浦賀に向かう「浦賀道」や三浦半島の主要な幹線道路に発達した坂道です。

第二は、寺社等近代以前の山と平地境界線上の坂道。近代以前、元来集落は平野部に立地し、山・台地との境界に寺社が立地しました。寺社に登る参道が坂道となっています。

第三は、幕末以降近代横須賀の発展に伴う市街地、戦後人口集中により住宅開発された台地上市街地内の坂道。横須賀は幕末以降急激に発展した街です。人口増加に伴い市街地が拡大、特に谷戸、台地、山間部に広がっていきます。その市街地内の道路が坂道となっています。戦前に発達した北部地区、戦後に発達した東部・南部地区に大きく分かれます。

第四は、台地・山間部の市街地と平野部を結ぶ地区間連絡路としての坂道。台地上に市街地が出来ると交通網・商業・産業の発達した平野部との連絡路が必要となってきます。横須賀の東部、南部に多数発達しています。

横須賀の独特な坂道は、4つの分類中、第三、第四の坂道です。それは、幕末の横須賀製鉄所立地以降の横須賀発展の歴史の産物だからです。今回ご紹介した坂道のほかにも魅力的な坂がたくさんあります。是非皆さんの足で坂道を探して横須賀の歴史・風情を感じ取ってください。



吉田秀樹

国土技術政策総合研究所
福井県生まれ横須賀在住。坂道マニア
「海と船が見える坂道」を探して全国のみなとまちを巡る。横須賀と北九州の「海と船が見える坂道」マップ作成。「第5回横須賀都市景観協議会賞」受賞。そのほか、ヨコスカフランスパン、角打ち、ソースカツ丼など、その土地の隠れた名物発見に夢中。

坂道散策の際には、
近隣の方や通行する方
にご迷惑にならないよう、
節度ある行動をお願いします。



監 修：吉田秀樹
発 行：横須賀集客促進実行委員会
事務局：横須賀市経済部観光企画課046-822-8124
協 力：国土交通省横浜国道事務所・神奈川県横須賀土木事務所・横須賀市観光ボランティアガイドの会



21 尻こすり坂

国道134号

久里浜 名前が面白い

しりこすり坂という印象的な名前ですが、その昔は大八車の尻がこすれるほど、また尻をこすりつけるようにして下りるほどの急な坂道であったと言われています。坂の途中には「開削碑」があります。

22 ソレイユの丘

長井4丁目付近

西 海が見える

坂道を上ると、ソレイユの丘が見えてきます。豊かな緑と海に囲まれ、プロヴァンス地方の景観をモチーフにした街並みが魅力です。



23 湘南国際村の坂

県道217

西 海が見える

湘南国際村から秋谷に向かう坂道を下り、トンネルを抜ければ目の前には相模湾が広がります。上り坂は多くの自転車乗りが唸るほどの急勾配です。



24 久留和の坂

秋谷付近

西 海が見える

相模湾を望む横須賀西海岸には数多くの坂が点在します。それぞれの坂に生活感があり、異なる景色を楽しむことができます。



9 うぐいす坂

上町

横須賀中央 歴史的

昔は、木々が生い茂り、うぐいすの鳴き声が絶えず、咸臨丸の副艦長格、浜口英幹の花屋数がありました。

10 平坂

県道26号

横須賀中央 印象的

昔は、浜までの「小道」でした。坂らしくなったのは明治10年。関東大震災後16メートルの道幅に整備。平坂という名から平らな坂を連想させられますが「ヒラ、サカ」ともに坂を表しています。



11 聖徳寺坂

中央

県立大 印象的

現在の坂は、大正11年埋め立てにより完成。戦前は、周辺に海軍の下宿を営む家が多くありました。



12 どうみき坂

県大南西側

県立大 印象的

どうめき(道目木、泥目木)は、「川や滝の水の音にちなむ地名」など諸説あります。



横須賀 坂道めぐり

